

## SilkTest 13.0

リリースノート

**Micro Focus**  
575 Anton Blvd., Suite 510  
Costa Mesa, CA 92626

Copyright © 2012 Micro Focus. All rights reserved. SilkTest は Borland Software Corporation に由来する成果物を含んでいます, Copyright © 2012 Borland Software Corporation (a Micro Focus company).

MICRO FOCUS, Micro Focus ロゴ、及びその他は Micro Focus IP Development Limited またはその米国、英国、その他の国に存在する子会社・関連会社の商標または登録商標です。

その他、記載の各名称は、各所有社の知的所有財産です。

2012-10-02

# 目次

<b>SilkTest 13.0 リリース ノート</b>	<b>4</b>
<b>SilkTest の新機能</b>	<b>5</b>
すべてのクライアント	5
Google Chrome のサポート	5
Mozilla Firefox のサポート	5
SilkTest 開始画面	5
テキスト解決のサポート	5
Windows DLL の呼び出し	5
SWT 3.7 のサポート	6
Windows ユーザー補助	6
Microsoft SilverlightRuntime 5 上での Microsoft Silverlight 4 のサポート	6
Rumba 8.3 のサポート	6
製品通知サービス	6
SilkTest Workbench	6
スクリプトのデバッグ	6
スクリプトの再利用	6
.NET スクリプトの結果におけるスクリーンショット	6
記録中のスクリプトへの検証の追加	7
資産のバージョンのパージ	7
SilkTest Workbench コマンドライン プログラム	7
ロケーターからオブジェクト マップへの移動	7
SilkTest Classic	7
コンソールの自動テスト	7
TrueLog と Open Agent	7
記録されるウィンドウ ロケーター名の単純化	7
Silk4J	7
TrueLog と Silk4J	7
Silk4J で整数でなくスクリプト定数を記録	8
スクリプトへの結果コメントの挿入	8
<b>SilkTest 製品スイート</b>	<b>9</b>
<b>システム要件および前提条件</b>	<b>10</b>
ハードウェア要件	10
プラットフォーム サポート	10
テスト済みの構成	12
Adobe Flex のサポート	14
Java のサポート	14
SilkTest Classic の DSN サポート	15
<b>インストール手順</b>	<b>16</b>
<b>既知の問題</b>	<b>17</b>
SAP アプリケーション	17
Web アプリケーション	18
SilkTest Workbench	18
全般的な問題	22
SilkTest Classic	23
<b>解決済みの問題</b>	<b>25</b>
<b>サポート終了コンポーネント</b>	<b>26</b>
SilkTest 13.0 の EOL コンポーネント	26
次のリリースの SilkTest の EOL コンポーネント	26
次のリリース後のリリースの SilkTest の EOL コンポーネント	27

# SilkTest 13.0 リリースノート

**2012年5月**

このファイルでは、ヘルプには表示されない場合もある重要な情報について説明します。このファイル全体をお読みください。

インストールおよびライセンスの問題については、『[SilkTest インストールガイド](#)』を参照してください。

このドキュメントの最新バージョンについては、[SilkTest 13.0 リリースノート](#)を参照してください。

カスタマー ケアからサポートを受けるには、[supportline.microfocus.com](http://supportline.microfocus.com) に移動してください。

# SilkTest の新機能

このセクションでは、SilkTest に対して行われた重要な改善と変更を示します。


SilkTest 13.0 では、以下の機能をサポートしています。

## すべてのクライアント

すべてのクライアントで、以下の機能が新しくなりました。

### Google Chrome のサポート

SilkTest が Google Chrome をサポートするようになりました。xBrowser ドメインと Google Chrome を使用して、テストの再生とロケータの記録を行なうことができるようになりました。

 **注:** Google Chrome テストを再生する場合は、**再生 > 結果 > ビジュアル テスト > コントロールのキャプチャ** オプションを **いいえ** に設定してください。

### Mozilla Firefox のサポート

SilkTest では現在、以下のリリースで実行されているアプリケーションの再生をサポートしています。

- Mozilla Firefox 7
- Mozilla Firefox 8
- Mozilla Firefox 9
- Mozilla Firefox 10
- Mozilla Firefox 11

## SilkTest 開始画面

SilkTest の新しい開始画面では、すべてのクライアントの機能とアクセスを扱いやすい 1 つのページにまとめられています。さらに、**スタート** メニューも選択したいクライアントやツールに簡単に移動できるように変更されています。製品をインストールすると、**SilkTest** という名前の単独のデスクトップアイコンが作成され、このアイコンから新しい開始画面を開くことができます。新しい開始画面では、以下の作業を行なうことができます。

- テストの作成や資産の参照などの一般的なタスクを行うためにクライアントを直接開く。
- 選択したクライアントのデスクトップ ショートカットを作成する。
- 特定のクライアントのヘルプを開く。

## テキスト解決のサポート

テキスト解決メソッドを使用して、オブジェクト解決で識別できない、高度にカスタマイズされたコントロールを含むテスト アプリケーションを便利に操作できるようになりました。相対座標でのクリックの代わりにテキスト クリックを使用して、コントロール内の指定したテキスト文字列をクリックできます。テキスト解決は、Google Chrome で実行しているアプリケーションや、Microsoft Silverlight または Adobe Flex で実装されたテスト アプリケーションはサポートしていません。

## Windows DLL の呼び出し

Windows DLL を呼び出すために Open Agent を使用することができるようになりました。

## SWT 3.7 のサポート

SilkTest では、Java SWT 3.7 スタンドアロンおよび Rich Client Platform (RCP) アプリケーションがサポートされます。

## Windows ユーザー補助

Win32 アプリケーションのすべてのジェネリック コントロールに、Microsoft ユーザー補助 サポートを使用できるようになりました。

## Microsoft SilverlightRuntime 5 上での Microsoft Silverlight 4 のサポート

SilkTest では Microsoft Silverlight Runtime 5 上で Microsoft Silverlight 4 がサポートされます。

## Rumba 8.3 のサポート

SilkTest では Rumba 8.3 がサポートされます。

## 製品通知サービス

製品通知サービスは、現在インストールされている SilkTest のバージョンと、ダウンロードして入手可能な最新のバージョンを知らせます。リンクをクリックして、ダウンロード ページに移動します。このサービスには、SilkTest が製品の更新をいつチェックするかを設定する機能が含まれています。

## SilkTest Workbench

SilkTest Workbench で、以下の機能が新しくなりました。

### スクリプトのデバッグ

SilkTest Workbench にスクリプト デバッグが組み込まれ、開発環境でのスクリプトの再生を一時的に中断して、スクリプトの検証やステップ実行を行うことができるようになりました。出力 ウィンドウと ローカル変数 ウィンドウを使用し、スクリプトのすべての変数の値をドリルダウンして確認できます。

### スクリプトの再利用

新しい **.NET スクリプト参照の追加** コマンドにより、頻繁に使用する関数のスクリプトを作成して、その他すべてのスクリプトからそのスクリプトを再利用できます。これを実行する正確な手順については、「スクリプト内からのスクリプトの参照」を参照してください。

### .NET スクリプトの結果におけるスクリーンショット

SilkTest Workbench が .NET スクリプトの結果にスクリーンショットを追加するようになりました。 .NET スクリプトを SilkTest Workbench で実行すると、SilkTest Workbench が .NET スクリプトのすべての実行されたコード行に対してスクリーンショットをキャプチャするようになったため、.NET スクリプトの実行の流れをグラフィカルに確認することができます。キャプチャされたスクリーンショットは、**結果** ウィンドウの **詳細** タブで参照できます。

## 記録中のスクリプトへの検証の追加

記録 ダイアログ ボックスの **検証の追加** をクリックして、スクリプトの記録中に検証を追加することができます。

## 資産のバージョンのパージ

SilkTest Workbench に、資産のバージョンをパージする機能が追加されました。この機能によって、保持したい資産の種類やバージョンの数を指定して、簡単に資産を管理できます。 コマンド ライン インターフェイスまたは通常の GUI を使用して、この機能にアクセスできます。

## SilkTest Workbench コマンド ライン プログラム

SilkTest Workbench にはコマンド ライン プログラムが含まれ、1 つ以上のスクリプトの実行に使用できるようになりました。複数のプロジェクトと実行環境を使用することもできます。結果を理解できるように結果のログ ファイルを生成し、エラー コードを返すようにプログラムを設定できます。

## ロケーターからオブジェクト マップへの移動

1 回クリックするだけで、ロケーターからビジュアル テストや .NET スクリプトの対応するオブジェクト マップ エントリに移動できるようになりました。

## SilkTest Classic

SilkTest Classic で、以下の機能が新しくなりました。

### コンソールの自動テスト

SilkTest で、コンソールのテストの自動化が行えるようになりました。コンソールにコマンドを入力したり、コンソールの内容を取得したりする自動テストを書くことができるようになりました。

### TrueLog と Open Agent

Open Agent を SilkTest Classic で操作しているとき、TrueLog を使用してテスト結果ファイルを分析し、スクリーンショットを撮ることができるようになりました。

### 記録されるウィンドウ ロケーター名の単純化

ウィンドウ ロケーターを SilkTest Classic で記録すると、記録された階層をエディタに貼り付けたときに単純なロケーター名が生成されます。

## Silk4J

Silk4J で、以下の機能が新しくなりました。

### TrueLog と Silk4J

Silk4J を操作するときに、TrueLog を使用して、Silk4J テストの実行中にビジュアル実行ログを作成できるようになりました。TrueLog ファイルが、Silk4J テストが実行されたプロセスの作業ディレクトリに作

成されます。Silk4J テストの実行の完了時に、新しい **再生完了** ダイアログ ボックスが開き、完了したテストの TrueLog を選択して確認できます。

## Silk4J で整数でなくスクリプト定数を記録

Silk4J でマウス ボタンをクリックすると、整数でなくスクリプト定数を記録できます。また、可能な場合、ModifierKey.None は省略されます。たとえば、`control.click(1, new Point(191, 14), ModifierKey.None);` は `control.click(MouseButton.LEFT, new Point(191, 14));` として記録できます。



**注:** 以前の方法で記録されたスクリプトは、引き続き正しく再生されます。

## スクリプトへの結果コメントの挿入

テストに関する補足情報を提供するためにテスト スクリプトに結果コメントを追加できるようになりました。テストの実行中に、結果コメントはテストの TrueLog ファイルに追加されます。



# SilkTest 製品スイート

SilkTest 製品スイートには、以下のコンポーネントが含まれています。

- SilkTest Workbench : SilkTest Workbench は、新しいネイティブ品質テスト環境です。上級者用の .NET スクリプトと、テストのアクセス可能性を高める革新的なストーリーボードベースのビジュアルテストが提供されます。
- Silk4NET : Silk4NET Visual Studio プラグインを使用すると、Visual Studio で直接 Visual Basic または C# のテスト スクリプトを作成できます。
- Silk4J : Silk4J Eclipse プラグインを使用すると、Eclipse 環境で直接 Java ベースのテスト スクリプトを作成できます。
- SilkTest Recorder : SilkTest Recorder を使用すると、GUI を使用してテストを記録および再生し、それらのテストを SilkTest Classic、Silk4J、または Silk4NET にエクスポートできます。
- SilkTest Classic : SilkTest Classic は、従来の 4Test SilkTest 製品です。
- SilkTest Agent : SilkTest Agent は、テストのコマンドを GUI 固有のコマンドに変換するソフトウェアプロセスです。つまり、テストするアプリケーションをエージェントが動かし、監視しています。ホストマシン上で 1 つのエージェントをローカルに実行できます。ネットワーク環境では、任意の数のエージェントをリモート マシン上で実行できます。

# システム要件および前提条件

以下のセクションでは、SilkTest をインストールして実行するためのシステム要件を示します。

## ハードウェア要件

以下のハードウェア要件をお勧めします。

システム領域	要件
プロセッサ	Intel または AMD の DualCore プロセッサ (2 GHz)
RAM	2 GB
ハード ディスク領域	2 GB の空きディスク領域



**注:** 自作機 (ベアボーンキット、ショップブランド機を含む) は動作保証外です。

## プラットフォーム サポート

### プラットフォーム

SilkTest 13.0 は、以下のプラットフォームで実行されます。

- Windows XP SP3
- Windows Vista SP1\* または SP2
- Windows 7
- Windows 7 SP1
- Windows 2008
- Windows 2008 R2

### テクノロジー ドメインおよびブラウザ

SilkTest 13.0 では、以下のブラウザを使用するアプリケーションまたは以下で開発されるアプリケーションがサポートされています。

テクノロジーの種類	Open Agent を使用する SilkTest Workbench、SilkTest Recorder、Silk4NET、Silk4J、SilkTest Classic でサポートされるバージョン	Classic Agent を使用する SilkTest Classic でサポートされるバージョン
Adobe Flex	3.0*、3.2*、3.3*、3.4*、3.5*、4.0、4.1、4.5.1	サポート対象外
Mozilla Firefox (再生のみ)	3.5*、3.6*、4.0*、5*、6*、7*、8*、9*、10、11*	サポート対象外
Google Chrome (再生のみ)	18*	サポート対象外
Windows Internet Explorer	6*、7*、8、9	6*、7*、8* (再生のみ)

テクノロジーの種類	Open Agent を使用する SilkTest Workbench、SilkTest Recorder、Silk4NET、Silk4J、SilkTest Classic でサポートされるバージョン	Classic Agent を使用する SilkTest Classic でサポートされるバージョン
Java AWT/Swing	Java 1.6	Java 1.6*
Java SWT	3.2*、3.3*、3.4*、3.5*、3.6、3.7	サポート対象外
SAP	SAPGUI クライアント 7.10、SAPGUI クライアント 7.20	サポート対象外
Silverlight	3 (Silverlight Runtime 4)、4 (Silverlight Runtime 4 および Silverlight Runtime 5)	サポート対象外
Rumba	8.1、8.2、8.3	サポート対象外
Win 32	任意	32 ビット プラットフォームのみ*
WinForms	.NET 2.0*、3.0、3.5、3.5 SP1、4.0	サポート対象外
WPF	.NET 3.5 SP1、4.0	サポート対象外

## データベース

SilkTest 13.0 では、SilkTest Workbench の資産の格納について、以下のデータベースがサポートされています。オペレーティング システムについては、注記を参照してください。

- SQL Server 2008 (SP2) + Express
- SQL Server 2005 (SP3) + Express
- Oracle 11.1\*
- Oracle 11.2\*



**注:** SilkTest のインストール時に SQL Server 2008 Express SP2 をインストールすることを選択する場合は、以下のサポート対象オペレーティング システムのいずれかがあることを確認してください。

- Windows 7
- Windows Server 2008
- Windows Server 2008 R2
- Windows Vista SP1\* または SP2



**注:** Windows Vista SP1\* の場合、.NET 3.5 SP1 または 4.0 の完全バージョンをコンピューターにインストールしてから、SQL Server をインストールする必要があります。この要件を満たさない場合は、SQL Server Express がインストールされません。.NET 3.5 SP1 または 4.0 の完全バージョンをインストールするには、Microsoft の Web サイトからダウンロードします。

- Windows XP Service Pack 3

\* これらのオペレーティング システム、機能、および統合は、今後の SilkTest バージョンでサポートされなくなる予定です。詳細については、「サポート終了コンポーネント」を参照してください。

## Eclipse 環境

Eclipse 3.4\* 以降では Silk4J を統合できます。ただし、TrueLog ファイルの書き出しを行うことができるバージョンは、SilkTest に同梱されているバージョン 3.7.2 だけです。


## Visual Studio 環境

Visual Studio 2010 Professional 以降では Silk4NET を統合できます。

## テスト済みの構成

テスト済みの構成をプラットフォーム別に以下に示します。すべての組み合わせをテストすることは不可能であることに注意してください。経験上、組み合わせが異なると SilkTest での動作は異なる場合があります。Micro Focus では、可能なかぎり多くの組み合わせをテストしています。

 **注:** SilkTest は 64 ビット オペレーティング システムで使用できますが、SilkTest では Java、.NET、および Windows API ベースのアプリケーションについてのみ 64 ビット アプリケーションのテストがサポートされています。SilkTest は、Classic Agent を使用した 64 ビット アプリケーションのテストをサポートしていません。

 **注:** Microsoft Silverlight のサポート対象 : バージョン 4 では、コントロールと Runtime がサポートされています。バージョン 5 では、Runtime のみがサポートされています。


プラットフォームの種類	Open Agent を使用する SilkTest Workbench、SilkTest Recorder、Silk4NET、Silk4J、SilkTest Classic のテスト済みの構成	Classic Agent を使用する SilkTest Classic のテスト済みの構成
Microsoft Windows 7 (32 ビット)	Windows Internet Explorer 8 Mozilla Firefox 7.0 (Microsoft Windows 7 32 ビット) Mozilla Firefox 9.0 Google Chrome Java 1.6 (AWT/Swing/SWT 3.5 または 3.6) .NET 3.5 (WinForms) .NET 4.0 (WPF、WinForms、Silverlight) Silverlight のサポートについては、上記のこの表のメモを参照してください。 Win 32 SAPGUI クライアント 7.20 パッチ 6 Rumba 8.1 Flex 3.5、4.1、4.5.1	Windows Internet Explorer 8 (再生のみ) Win 32
Microsoft Windows Server 2008 SP2 (32 ビット)	Windows Internet Explorer 8 Mozilla Firefox 9.0 Java 1.6 (AWT/Swing/SWT 3.5 または 3.6) .NET 3.5 (WinForms) .NET 4.0 (WPF、WinForms、Silverlight) Silverlight のサポートについては、上記のこの表のメモを参照してください。 Win 32 SAPGUI クライアント 7.10 パッチ 13 Flex 3.5、4.1、4.5.1 Rumba 8.1	Windows Internet Explorer 8 (再生のみ) Win 32

プラットフォームの種類	Open Agent を使用する SilkTest Workbench、SilkTest Recorder、Silk4NET、Silk4J、SilkTest Classic のテスト済みの構成	Classic Agent を使用する SilkTest Classic のテスト済みの構成
Microsoft Windows Vista SP2 (32 ビット)	Windows Internet Explorer 7 Mozilla Firefox 6.0 Flex 3.5、4.1、4.5.1 Java 1.6 (AWT/Swing/SWT 3.5 または 3.6) .NET 3.5 (WinForms) .NET 4.0 (WPF、WinForms、Silverlight) Silverlight のサポートについては、上記のこの表のメモを参照してください。 Win 32 SAPGUI クライアント 7.10 パッチ 13 Rumba 8.1	Windows Internet Explorer 7 Win 32
Microsoft Windows XP SP3 (32 ビット)	Windows Internet Explorer 6 Mozilla Firefox 3.5 Flex 4.1 Java 1.6 (AWT/Swing/SWT 3.5 または 3.6) .NET 3.5 (WinForms) .NET 4.0 (WPF、WinForms、Silverlight) Silverlight のサポートについては、上記のこの表のメモを参照してください。 Win 32 SAPGUI クライアント 7.10 パッチ 13 Rumba 8.1	Windows Internet Explorer 8 (再生のみ) Win 32
Microsoft Windows 7 SP1 (64 ビット)	Windows Internet Explorer 9 (32 ビット) Mozilla Firefox 10.0 (32 ビット) Google Chrome Java 1.6 (AWT/Swing/SWT 3.6.1) .NET 3.5 (WinForms) .NET 4.0 (WPF、WinForms、Silverlight) Silverlight のサポートについては、上記のこの表のメモを参照してください。 Win 32 Rumba 8.2	
Microsoft Windows Server 2008 R2 SP1(64 ビット)	Windows Internet Explorer 8 (32 ビット) Mozilla Firefox 3.6 Java 1.6 (AWT/Swing/SWT 3.6.1) .NET 3.5 (WinForms)	

プラットフォームの種類	Open Agent を使用する SilkTest Workbench、SilkTest Recorder、Silk4NET、Silk4J、SilkTest Classic のテスト済みの構成	Classic Agent を使用する SilkTest Classic のテスト済みの構成
	.NET 4.0 (WPF、WinForms、Silverlight) Silverlight のサポートについては、上記のこの表のメモを参照してください。  Win 32 Rumba 8.2	
Microsoft Windows Vista SP2 (64 ビット)	Windows Internet Explorer 7 Mozilla Firefox 6.0 Java 1.6 (AWT/Swing/SWT 3.6.1) .NET 3.5 (WinForms) .NET 4.0 (WPF、WinForms、Silverlight) Silverlight のサポートについては、上記のこの表のメモを参照してください。  Win 32 Rumba 8.1	

## Adobe Flex のサポート

SilkTest は、サポート対象のすべてのブラウザおよび Adobe AIR 2.0 以降 (Flex 4.x で作成) を使用した Flex 3.0\*、3.2\*、3.3\*、3.4\*、3.5\*、4.0、4.1、および 4.5.1 のテストを組み込みでサポートしています。

 **注:** Google Chrome ではテストされていません。

SilkTest は Adobe Flash Player 10 以降をサポートしています。

\* これらのバージョンは今後の SilkTest バージョンでサポート対象外になる予定です。詳細については、「サポート終了コンポーネント」を参照してください。

## Java のサポート

### Open Agent のサポート


SilkTest では、Open Agent を使用する SilkTest Workbench、SilkTest Recorder、Silk4NET、Silk4J、SilkTest Classic について以下の Java コンポーネントがサポートされています。

- SWT 3.2\*、3.3\*、3.4\*、3.5\*、3.6、および 3.7 スタンドアロン アプリケーションおよび Rich Client Platform (RCP) アプリケーション (ブラウザでアプレットとして実行される SWT スタンドアロン アプリケーションはサポートされていません)
- Java バージョン 1.6
- AWT
- Swing (Java Foundation Class を含む)
- アプレット (Windows Internet Explorer および Mozilla Firefox)

## Classic Agent のサポート\*

SilkTest では、Classic Agent を使用する SilkTest Classic について以下の Java コンポーネントがサポートされています。

- Java バージョン 1.6\*
- AWT\*
- Java Foundation Class (JFC、Swing)\*
- Symantec Visual Café\*
- アプレット\*

 **注:** アプレットは Windows Internet Explorer 8 ではサポートされていません。


\* これらのバージョンは今後の SilkTest バージョンでサポート対象外になる予定です。詳細については、「サポート終了コンポーネント」を参照してください。

## SilkTest Classic の DSN サポート

SilkTest Classic のデータドリブンワークフローは、以下をサポートします。

- テキストファイルおよびカンマ区切り値ファイル (\*.txt ファイルおよび \*.csv ファイル)
- MS Excel
- MS Access
- MS SQL Server
- Oracle (部分的なサポート)
- SyBase SQL Anywhere

SilkTest Classic は、ODBC を使用して上記のデータベースにアクセスするため、有効な ODBC ドライバを持つこれらのデータベースのバージョンをサポートします。

 **注:** SilkTest Classic の **Select Data Source** ダイアログボックスで、Silk DDA Excel または Segue DDA Excel のいずれかのデータソースを選択できます。新しいデータドリブンテストケースの場合は、Silk DDA Excel データソースを選択します。Segue DDA Excel データソースは後方互換性のために選択します。これにより、Segue DDA Excel を参照する既存の .g.t ファイルが引き続き機能します。

# インストール手順

インストールおよびライセンスの問題については、『[SilkTest インストールガイド](#)』を参照してください。



# 既知の問題

このセクションでは、SilkTest の既知の問題とその解決策を示します。

## SAP アプリケーション

### SAPTree クラスの HierarchyHeaderWidth および ColumnOrder プロパティが書き込み専用になっている

自動化に関するドキュメントに記載されている場合を除いて、SAPTree の HierarchyHeaderWidth および ColumnOrder プロパティは書き込み専用で、読み込むことはできません。

これらのプロパティを使用する場合、スクリプトで、読み込みではなく、書き込みが使用されていることを確認します。

### SAPTree クラスの GetColumnIndexFromName() が「特定できないエラー」により失敗する

SapTree クラスの GetColumnIndexFromName() は「特定できないエラー」により失敗することがあります。これは SAP オートメーションの既知の問題です。

SAP Web サイトでこの問題が解決されているかどうか確認してください。

### コンテキスト メニュー項目の SAPTree クラスの Select() メソッドの呼び出しに失敗する

コンテキスト メニュー項目の SAPTree クラスの Select() メソッドの呼び出しに失敗することがあります。

代わりに親コントロールの SelectContextMenuItem を呼び出します。これは SAP オートメーションの既知の問題です。

### 水平スクロールバーの Position プロパティが常に 1 を返す

水平スクロールバーの Position プロパティは常に 1 を返します。これは SAP オートメーションの既知の問題です。

SAP Web サイトでこの問題が解決されているかどうか確認してください。

### SAPNetPlan クラスがサポートされていない

この問題は今後のリリースで解決される予定です。

### SAP スクリプトを高速モードで実行すると、再生エラーが発生する

SAP テストを SilkTest Recorder を使用して記録し、**再生速度: 速い** 設定で再生すると、エラーが発生する場合があります。エラー メッセージは、「この操作を完了するのに必要なデータは、まだ利用できません」です。

再生速度をこれより遅い設定に変更します。または、xBrowser ではなく、SAP オートメーションを使用して問題が発生する操作を再生するように、スクリプトを変更します。たとえば、その操作を DomLink.Select から SapHTMLViewer.SapEvent に変更します。

# Web アプリケーション

## Google Chrome での WaitForProperty でエラーが発生する

新しいページへ移動させる操作を行った後に、同期をとるために両方のページに存在するオブジェクトに対して `waitForProperty` を使用すると、`ReplayException` エラーが発生する場合があります。この問題の回避策は、操作を行った後に、新しいページにのみ存在するオブジェクトに対して `Find` を実行し、その後、まだ必要な場合に `WaitForProperty` を実行します。

## Google Chrome の設定メニュー

Google Chrome の **設定** メニューのサブメニューにアクセスするとクラッシュする場合があります。この問題は、バージョン 18 で発生します。

## Silverlight アプリケーション

Silverlight アプリケーションによっては、SilkTest との通信中に Windows Internet Explorer がハングする場合があります。32 ビットプラットフォーム上での問題の回避方法については、MS KB 2564958 (Active Accessibility 用の更新プログラム) を参照してください。

## Google ツールバーを使用すると、Web アプリケーションの記録に支障をきたす

Windows Internet Explorer 8 で Google ツールバーを使用すると、Web アプリケーションのロケータの記録に支障をきたします。

Google ツールバーをオフにしてから、Web アプリケーションを記録してください。

## SilkTest が Google Chrome の認証ダイアログ ボックスの ログイン および キャンセル ボタンをサポートしない

SilkTest は、Google Chrome の認証ダイアログ ボックスの **ログイン** および **キャンセル** ボタンをサポートしていません。以下の回避策のいずれかを使用して、この制限事項を回避できます。

- テストする Web サイトの URL にユーザー名とパスワードを指定します。たとえば、Web サイト `www.example.com/loginrequired.html` にログインするには、以下のコードを使用します。  
`http://myusername:mypassword@example.com/loginrequired.html`
- `TypeKeys` を使用して、ダイアログ ボックスにユーザー名とパスワードを入力します。たとえば、以下のコードを使用します。

```
desktop.find("//Window[@caption='Authentication Required']/Control[2]").TypeKeys("myusername")
desktop.find("//Window[@caption='Authentication Required']/Control[1]").TypeKeys("mypassword<Enter>")
```



**注:** `Control[2]` はユーザー名のフィールドで、`Control[1]` はパスワードのフィールドです。2 番目の `TypeKeys` の末尾の `<Enter>` キーで、ダイアログ ボックスのエントリを確認します。

# SilkTest Workbench

## スクリプトの再生時にバックグラウンドにメッセージ ボックスが表示される (31314)

メッセージ ボックスのステートメント (`MsgBox` ("Hello") など) を .NET スクリプトに含めた場合、スクリプトの再生時にバックグラウンドにメッセージ ボックスが表示されます。

メッセージボックスをフォアグラウンドに表示するには、MsgBox ステートメントに MsgBoxStyle.MsgBoxSetForeground を含めます。例：

```
MsgBox ("Hello", MsgBoxStyle.MsgBoxSetForeground)
```

## インストーラが SQL Server Native Client のインストールと COM サーバーとしての SilkTest Workbench の登録に失敗する

SilkTest のインストール中またはインストール前に、オペレーティング システムが自動更新を実行するか、またはユーザーが Windows アップデートを行った場合、インストーラは SQL Server Native Client のインストールと COM サーバーとしての SilkTest Workbench の登録に失敗します。

これらの問題は共に、SilkCentral Test Manager (SCTM) の統合に影響を与えます。それは、SCTM では SQL Server Express によってインストールされたネイティブ クライアント ドライバを使用して SilkTest Workbench DSN を作成するためです。さらに SCTM は、自動化に COM インターフェイスを使用するには、COM サーバーとして登録された SilkTest Workbench を必要とするためです。

以下の解決策のいずれかを選択します。

1. Windows アップデートの実行中に SilkTest をインストールしない。
2. 使用しているマシンに Windows アップデートが自動的にインストールされないようにする。
3. 保留中の Windows アップデートを SilkTest より先にインストールしてから、システムを再起動し SilkTest をインストールする。

## 複数の修飾キーを含めるようホット キーの組み合わせを変更すると、追加のキーが記録される

検証の挿入用または記録の開始/停止用に複数の修飾キーを含むホットキーを構成している場合は、修飾キーを押す操作が記録されることがあります。たとえば、Alt+Ctrl+F9 というホット キーの組み合わせを指定した場合、Alt は、ホット キーの組み合わせの一部として無視されるのではなく、キーを押す操作として記録されることがあります。これは、キーから手を離すという対応する操作がないため、再生時に問題になります。

修飾キーに関連するこの操作を手動で削除するか、ホット キーの修飾キーを 1 つだけ使用します。

## SQL Server DSN が 64 ビット システムで動作しない

64 ビット DSN は SilkTest Workbench で使用できません。64 ビット マシンで DSN を作成するには、**スタート > Silk > SilkTest > 管理 > データ ソース (ODBC)** をクリックして 32 ビット DSN を作成します。C:\¥WINDOWS¥SysWOW64¥odbcad32.exe にある WOW64 ツールを使用することもできます。

## SilkCentral Test Manager を SilkTest Workbench の前にインストールするとエラーが発生する

「SilkTest Workbench に接続できません。 インストールされているかどうか確認してください」というエラーが、SilkTest Workbench スクリプトを SilkCentral Test Manager から実行すると発生します。このエラーは、SilkCentral Test Manager を SilkTest Workbench より前にインストールして、マシンを再起動しなかったために発生します。

SilkCentral Test Manager を SilkTest Workbench より前にインストールする場合は、SilkTest Workbench のインストール後にマシンを再起動します。または、SilkCentral Test Manager をインストールする前に SilkTest Workbench をインストールします。

## SilkTest Workbench を起動するのにネットワーク接続が必要になる

SilkTest Workbench を起動するためには、ネットワーク接続が必要です。ネットワーク接続が使用できない場合、エラー「Open Agent との接続に失敗しました」が発生します。他のクライアント (SilkTest Classic、SilkTest Recorder など) を起動する場合には、ネットワーク接続は必要ありません。

SilkTest Workbench を起動する前に、ネットワーク接続が使用可能であることを確認してください。

## SQL Server Express を Windows Vista SP1 マシンにインストールできない

Windows Vista SP1 マシンでは、SilkTest のインストール中に SQL Server 2008 をインストールする場合、.NET 3.5 SP1 の完全バージョンがインストールされていることを確認してください。.NET 3.5 SP1 の完全バージョンをインストールするには、Microsoft の Web サイトからダウンロードします。

## For ループが使用されている場合、オートコンプリートおよび構文に関するヒントが不完全になる

For ループが .NET スクリプトで使用されている場合、最初にコードを入力したときに構文ヒントにオブジェクト メソッドだけが表示されます。

この問題は、Actipro の次の保守リリースで解決済みです。ただし、リリースのスケジュールは不明です。メソッドとプロパティを構文ヒントに表示するには、コードを編集して引数を含めるようにします。たとえば、以下のコードでは、構文ヒントにメソッドだけが表示されます。

```
Dim ad as ActiveData = Workbench.LoadActiveData("myAD")
  Dim adr as ActiveDataRow

  For each adr in ad
  Next adr
```

メソッドとプロパティを表示するには、For コードを以下のとおり編集します。

```
For each adr as ActiveDataRow in ad
```

## 無効なオブジェクトマップ エントリで、斜体で表示されない漢字がある

無効なオブジェクト マップ エントリが発生した場合、一部の漢字は斜体で表示されません。

無効なオブジェクト マップ エントリを識別するには、無効なエントリに割り当てられる赤色のテキスト、または **次のエラー** と **前のエラー** ツールバー ボタンを使用します。

## [画面プレビューから識別] により、移行されたデータベースに不正なオブジェクト マップ項目が作成される

SilkTest Workbench 2010 から SilkTest Workbench 2010 R2 に移行したあと、**画面プレビューから識別** を使用すると不正なオブジェクト マップ項目が作成されます。

**画面プレビューから識別** を使用する前に、**画面の更新** コマンドを使用して、画面を再キャプチャします。

## .NET アプリケーションを DevPartner Studio (DPS) から起動すると、SilkTest で認識されない

この問題を解決するには、以下のステップを実行します。

1. SilkTest のインストール フォルダ (デフォルトでは C:\Program Files\Silk\SilkTest) に移動します。
2. Windows Forms アプリケーションの場合は、 ng\agent\plugins \com.borland.fastxd.techdomain.windowsforms.agent\_<version number> に移動します。
3. Windows Presentation Foundation (WPF) アプリケーションの場合は、 ng\agent\plugins \com.microfocus.silktest.techdomain.wpf.agent\_<version number> に移動します。
4. メモ帳で、ファイル plugin.xml を開いて、<loadparameters> セクションに以下の行を追加します。

```
<param name="frameworkAssembly">mcoree.dll</param>
```
5. SilkTest のインストール フォルダの ng\agent フォルダ (デフォルトでは C:\Program Files\Silk\SilkTest\ng\agent) に移動します。
6. メモ帳で、openagent.ini を開いて、ファイルの 1 番目の行として -clean を追加します。
7. コンピュータからログアウトして、再びログインします。DevPartner Studio によって起動されたアプリケーションに対して、SilkTest が期待どおりの動作をします。

## スクリプトで停止を使用すると、エラーメッセージが表示される

SilkTest Workbench における現在のレベルの VB.NET デバッグ サポートにより、スクリプトでは VB.NET コマンド Stop (および Debugger.Break) を使用しないでください。

## 子スクリプトが親スクリプトから呼び出されると、子スクリプトはスコープ外のオブジェクト マップにアクセスできる

親スクリプトと子スクリプトが異なるプロジェクトに含まれており、異なるオブジェクト マップを使用している場合、オブジェクト マップが子スクリプトのスコープ外であっても、子スクリプトは正常に実行されます。

スクリプトが正常に実行されるため、解決策は必要ありません。ただし、この動作は今後のリリースでは正常に実行されなくなります。

## 複数ユーザーが SQL 2008 データベース上で同じ資産を同時に編集しようとする、資産のロック機構に関する問題が発生する可能性がある

問題かどうかをテストするには、ビジュアルテストなどの資産を開いて、SilkTest Workbench で編集できるようにします。資産が開いている間に、SilkTest Workbench の別のインスタンスから同じ資産を開きます。問題が発生した場合は、SilkTest Workbench の 2 番目のインスタンスで同じ資産を同時に編集できるか、または 2 番目のインスタンスが不完全なデータに関するメッセージを受け取ります。このときユーザー名とマシン名は共に空白になります。

SQL Server で、データベースの管理者権限を、このデータベースを使用する SQL データベース ユーザーに割り当てます。

## SQL データベースで資産のエクスポート中に予期しないエラーが発生する

SQL データベースで資産のエクスポート中に予期しないエラー「文字列から uniqueidentifier に変換中、変換に失敗しました」が発生します。

エクスポートしたデータベースをインポートし、何らかのエラーメッセージが表示された場合 OK を押します。インポートは正常に終了し、資産を使用できます。

## Access データベースの使用中に予期しないエラーが発生する

SilkTest データベース メンテナンス ツールを使用してデータベースをコンパクト化します。 **スタート > プログラム > Silk > SilkTest > 管理 > データベース メンテナンス** をクリックします。次に、データベースを開き、 **ツール > データベースのコンパクト化** をクリックします。

## 構成中に UAC が有効な状態で SilkTest Workbench が SQL Server へ接続できない

構成中に管理者権限を持たずに SilkTest Workbench を使用している場合、UAC が有効な状態で SQL Server へ接続できません。

構成中に SQL Server へ接続するには、 **管理者として実行** オプションを使用して SilkTest Workbench を起動する必要があります。

## リモートの SQL データベースとの接続が失われたときに SilkTest Workbench が異常終了する場合があります

リモートの SQL データベースを使用している場合、データベースが SilkTest Workbench から切断されると (サーバーを再起動した場合など)、SilkTest Workbench がデータベースとの通信を行おうとする際に異常終了する場合があります。

SilkTest Workbench を再起動して、データベースと再接続してください。

## 全般的な問題

### 大規模サイトに対するビジュアル テストの再生

大規模サイトに対して xBrowser を使用してビジュアル テストを実行する際に、パフォーマンスの問題に遭遇する場合があります。この問題を回避するには、**再生 > 結果 > ビジュアル テスト > コントロールのキャプチャ** オプションを **いいえ** に設定してください。

### リモート デスクトップまたはリモート デスクトップ接続 (RDC) が最小化されると、SilkTest が機能しない

リモート デスクトップ プロトコル (RDP) 経由でデスクトップに接続している場合、マウスとキーボードを使ってデスクトップに接続することにより、デスクトップの所有権を獲得します。デスクトップの所有権を解放せずにデスクトップを最小化すると、マウス クリックまたはキーストロークの再生がすべて未定義になります。

推奨される構成としては、VMWare サーバーで SilkTest を実行し、VMWare クライアント ソフトウェア 経由で接続します。これにより、クライアントが終了された場合でも再生を継続できます。

### SilkTest は Rumba の日本語バージョンをサポートしない

SilkTest は英語版の Rumba のみサポートします。ローカライズされた Rumba のバージョンを SilkTest でテストすることはできません。

### Check Point ファイアウォールがインストールされている場合に Open Agent が起動しない

システムに Check Point ファイアウォールまたは Check Point ZoneAlarm ファイアウォールをインストールしている場合は、ファイアウォールが Agent と infoservice 間の通信を中断するために Open Agent を起動できません。

Open Agent を起動するには、システムから Check Point ファイアウォールをアンインストールする必要があります。

### Mozilla Firefox を使用した Silverlight アプリケーションのテストがマシンによって機能しない

Mozilla Firefox で使用した場合、マシンによっては SilkTest での Silverlight のサポートが正常に動作しない場合があります。ホスト Mozilla Firefox プロセスがプラグイン プロセスを呼び出すのと同時に Mozilla Firefox プラグイン プロセスがホスト Mozilla Firefox プロセスを呼び出した場合、デッドロックが発生する可能性があります。詳細については、[https://bugzilla.mozilla.org/show\\_bug.cgi?id=686861](https://bugzilla.mozilla.org/show_bug.cgi?id=686861) または [https://bugzilla.mozilla.org/show\\_bug.cgi?id=558986](https://bugzilla.mozilla.org/show_bug.cgi?id=558986) を参照してください。

SilkTest が .NET Framework をプラグイン プロセスに読み込んで Silverlight をテストしているため、この既知の問題が SilkTest で発生する場合があります。この場合、COM オブジェクトを解放するときにガーベジ コレクションがホスト Mozilla Firefox プロセスで呼び出されますが、SilkTest は .NET Framework がガーベジ コレクションを呼び出すタイミングをコントロールできません。

### バージョン 1.7 より前のバージョンの Prototype JavaScript Framework を使用する Web サイトのテストに Google Chrome を使用できない

これは、Prototype JavaScript Framework の問題で、バージョン 1.7 より前のバージョンのフレームワークでは、配列が正しく JSONified されないために発生します。これにより、Google Chrome テスト環境と SilkTest 実装が依存する Google Chrome の内部 domAutomation オブジェクトが影響を受け、テスト中に Google Chrome が正しく動作しない原因となります。この問題は、Prototype JavaScript バージョン 1.7 以降で修正されています。

Google Chrome を使用して Prototype JavaScript Framework を使用する Web サイトをテストするには、Prototype JavaScript をバージョン 1.7 以降に更新してください。

## Google Chrome のバックグラウンドアプリケーションによってアプリケーションサポートの読み込みが妨げられる

Google Chrome を使用して Web アプリケーションをテストする場合に、**Google Chrome を閉じた際にバックグラウンドアプリケーションの処理を続行する** チェック ボックスがチェックされていると、SilkTest はオートメーション サポートの読み込むために Google Chrome を再起動することができない場合があります。

# SilkTest Classic

## str 関数で四捨五入が正しく実行されない

小数点数/浮動小数点数には、内部バイナリ表現があります。ただし、小数点数値のバイナリ部分が正確に表現されているかどうかを確認することはできません。正確なバイナリ表現を使用できない場合 (数学的制約)、最も近い値が使用されますが、これが str 関数で四捨五入が正しく実行されないように見える問題の原因になります。この問題は回避できます。以下のコードを使用して内部表現を確認します。

```
[ ] printf("%.a20e¥n", 32.495)
[ ] printf("%.a20e¥n", 31.495)
```

## SilkTest モニターを実行する前に、agent.exe および partner.exe プロセスが強制終了されたことを確認する

SilkTest モニターまたは GUI レベルテストを実行する場合、モニター実行後に Agent.exe または Partner.exe プロセスが正しく終了せず、一時結果フォルダが開いたままになることがあります。モニター実行中にこの問題が発生すると、以降のモニターがすべて失敗し、エラー「LoadtestController: 3302 - 結果ディレクトリをクリアできませんでした」が表示され、クリアされません。

実行サーバー上で Agent.exe または Partner.exe プロセスを手動で強制終了するか、必要に応じて自動的にプロセスを強制終了する必須アクションを作成します。

## ウィンドウ クラスをタグを付けずに宣言した場合、不明な動作が発生する

SilkTest でタグを付けずにウィンドウ クラスを実装した場合、不明なエラーとクラッシュが発生します。たとえば、以下のコードでは、tag 行は必須となります。

```
[-] winclass MyDialogBox : DialogBox
[ ] tag "[DialogBox]"
[ ] locator "//DialogBox[@caption='Check Box']"
```

タグ行が存在する場合、コードは本来の動作をします。ただし、タグ行が存在しない場合、不明なエラーとクラッシュが発生します。たとえば、以下のコードで問題が発生します。

```
[-] winclass MyDialogBox : DialogBox
[ ] locator "//DialogBox[@caption='Check Box']"
```

## AnyWin クラスの古い CaptureText 関数の削除

古い 4Test 関数 AnyWin::CaptureText(String sFileName) が Classic Agent から削除されました。この関数をスクリプトで使用している場合は、次の 4Test コードで置き換えてください。

```
LIST OF STRING IsQuery
<name of the window>.Query(IsQuery)
ListWrite (IsQuery, sFileName)
```

## Java 7 を使用して Open Agent を開始できない

Java 7 を使用して Open Agent を開始できません。Java 7 では、XStream は以前の JRE バージョンとは異なった処理が行われます。詳細については、[JDK 7 と JDK 6 の非互換性](#)を参照してください。デフ

オルトでは、Open Agent を開始するために SilkTest に付属されているバージョンの Java を SilkTest は使用します。



# 解決済みの問題

以下の問題が解決されています。

問題番号	説明
RPI 1081168	WPF sync の無効化を可能にする
RPI 1081322	Java : Click メソッド実行中のエラー
RPI 1081347	Windows Forms : Open Agent が、マウスのフォーカスがタブ コントロールにセットされるまでタブ コントロールを認識しない
RPI 1081396	Open Agent は、特定の JAR が読み込まれたときに、テスト中のアプリケーションを Java アプリケーションとして認識しない
RPI 1081415	属性の長さが 20 文字を超える場合、ロケータの生成によって不正なロケータが作成される場合がある
RPI 1081665	Open Agent Recorder は、.NET クライアント アプリケーションをクラッシュさせる
RPI 1081702	Java TabButton の認識の問題
RPI 1081768	Open Agent が、テストケースの終了後にライセンスをリリースしない
RPI 1081938	Visual Studio の WPF コンテキスト メニューにアクセスできない
RPI 1082092	Mozilla Firefox : モダル ウィンドウが閉じた後にクラッシュする
RPI 1082445	Windows Internet Explorer : Open Agent がポップアップ レンダリングを阻止する
RPI 1082497	Java : スクリプトを呼び出すと、アプリケーションが予期せず終了する
RPI 1082564	Java : Select メソッドが JButton に対して呼び出されたときに、実行中にエラーが発生する
RPI 1082621	explorer.exe : CPU の使用率が 90% 以上に跳ね上がる
RPI 1082688	Windows Forms : SilkTest 2011 が AUT の記録に失敗する
RPI 1082764	Windows Forms : 多数のコンボボックス アプリケーションで記録の速度が遅くなる
RPI 1082778	Windows Internet Explorer : ポップアップ ウィンドウでオブジェクトが認識されない
RPI 1082839	Java : DynamicInvokeMethods メソッドが壊れている
DE2248	Mozilla Firefox 4 : アラート ウィンドウのクラッシュ
DE2291	F1 をクリックして <i>SilkTest Classic</i> ヘルプ を開くことができない
DE2297	SilkTest Workbench : いくつかのケースで Visual Basic IntelliSense が動作しない
DE2332	Silk4J : リモート エージェントへの接続が機能しない
DE2359	Mozilla Firefox リスト ボックス再生の問題
TA10746	<i>SilkTest Classic</i> ヘルプ の索引の特殊文字の問題
TA11293	SWT が読み込まれると、テスト中のアプリケーションが 20 秒間ハングする
TA13574	予想される TrueLog Explorer バージョンの不一致
TA13654	SilkTest 2011 Hotfix 2 で Controlcenter が動作しない

# サポート終了コンポーネント

このセクションでは、SilkTest の現在および将来のバージョンでサポートされなくなるオペレーティングシステム、機能、および統合を示します。

## SilkTest 13.0 の EOL コンポーネント

以下のオペレーティングシステム、機能、および統合は、SilkTest ではサポートされなくなります。

- Adobe Air 1.6
- Classic OCR
- Mozilla Firefox 3.0
- IBM JRE 1.5
- Java 1.5
- MSUIA テクノロジー ドメイン。WPF テクノロジー ドメインは引き続きサポートされます。

SilkTest で既存の MSUIA テストケースを使用するには、テストケースを WPF テクノロジー ドメインに適用します。つまり、すべての MSUIA\* クラスを WPF\* クラスに変更し、WPF テクノロジー ドメイン内の異なるメソッドおよびプロパティをすべて適用する必要があります。

## 次のリリースの SilkTest の EOL コンポーネント

以下のオペレーティングシステム、機能、および統合は、次のリリースの SilkTest ではサポートされなくなります。

- Windows Internet Explorer 6
- Java SWT 3.2、3.3、3.4
- Mozilla Firefox 3.5
- Mozilla Firefox 4
- Java AWT/Swing (Classic Agent 上)
- SilkBean
- .NET 2.0 ランタイムで実行する Windows Forms (WinForms) アプリケーション



**注:** アプリケーションが .NET 2.0 で開発され、SilkTest がサポートする .NET ランタイム上で実行される場合は、引き続きサポートされます。

- Oracle 11.1、11.2
- Microsoft Windows Vista SP1
- Adobe Flex SDK 3.0、3.2、3.3、3.4

以下のブラウザのバージョンは高速リリース版です。これらのバージョンの製品のライフサイクルは非常に短く、新しいバージョンで次々に置き換えられていきます。SilkTest は、開発元のベンダーがサポートする限り、これらのバージョンをサポートします。高速リリース版に対しては、SilkTest で EOL が宣言されてからの猶予期間は通常より短くなります。



**注:** SilkTest は、Mozilla Firefox の法人向け延長サポート版 (ESR) に対しては通常のライフサイクルポリシーを適用します (Mozilla Firefox 10 など)。

- Mozilla Firefox 5
- Mozilla Firefox 6
- Mozilla Firefox 7

- Mozilla Firefox 8
- Mozilla Firefox 9
- Mozilla Firefox 11
- Google Chrome 18

## 次のリリース後のリリースの SilkTest の EOL コンポーネント

以下のオペレーティング システム、機能、および統合は、次のリリース後のリリースの SilkTest ではサポートされなくなります。

- Windows ベースのアプリケーション (Classic Agent 上)
- Web アプリケーション (Classic Agent 上)
- ActiveX/Visual Basic アプリケーション (Classic Agent 上)
- Microsoft ユーザー補助 (Classic Agent 上)
- Mozilla Firefox 3.6
- Java SWT 3.5
- Adobe Flex 3
- Windows Internet Explorer 7
- Eclipse 3.7.2 未満のバージョン